

6月27日 もう教育部門3「新潟よつば学園の歩き方（廊下を歩くときの留意点）」

<歩行編>

- ・廊下は右側通行をする。
- ・走らない（歩く）。
- ・大きな中央廊下に出るときは、一時停止する。
- ・歩行が不安定な人やクラッチ使用の人もいるので、追い越しやすれ違いは“腕1本”くらい開けて通る。
- ・「通ります」という言葉掛けがあったら、ちょっと止まって待つ。

<生活の知恵編>

- ・点字ブロックのある引き戸の出入り口は、点字ブロックのある側から開け閉めをする。

<ちょっとした配慮編>

- ・扉は全開か全閉にする。
- ・向きが変えられる水道の蛇口は、使い終わったら下向きにする。

<もう教育部門からのお願い編>

- ・物品の場所変更の際は教えてほしい・・・認知マップを書き換えるため。
- ・階段では段数を数えているときもあるので、できれば安全な場所で声を掛けてほしい。
- ・オブジェクト・キュー、点字、床のラインロープは大切に使う。
- ・点字ブロックをふさがない（置かない・佇まない）。
- ・暗い時には全点灯（登下校時）。

<思いやり編>

- ・体に触るときは、一声掛けてから触れる。（例：「右手に触るよー」）（もう）
- ・正面から呼び掛けてから話す。（ろう）

<コミュニケーションスキル編>

- ・指示語ではなく、実際の状態で説明する。（例：「右側に1m移動して」「窓側の列の人」「箸を持って」「音の方に集合！『パンパン』」）
- ・クロックポジションは便利。
例：給食の献立を伝えてみましょう。
「お盆を机の上に置きます。」
「8時にご飯。今日はちょっと大盛りの枝豆ご飯。」
「4時に味噌汁。豆腐と揚げですね。これは赤だしですね。」
「2時に子持ちししゃも2匹。尾頭付きです!!」
「10時にデザートはメロン。夕張メロン1/8カット。小皿の手前に小さなフォークが載っています。」
「牛乳は1時で、ストローが9時にいってますね。」
「そして箸は6時です。」
「では、手を合わせてください。いただきます！」